

【児童への話】

今週で9月が終わり、10月が始まります。暑さがまだ残っていて、秋らしさを感じにくいな、と私は思いますがみなさんはどうですか？

今週の金曜日に「あゆみ」が皆さんに配られます。先生たちは、時間をかけてみんなのことを考え、これからももっと成長してほしいという気持ちであゆみを作っています。校長先生も副校長先生もみんなのあゆみをみることになっています。あゆみを参考にして、これからの学校生活をよりよくする大事な役割が皆さんにあります。これからもがんばってくださいね。

さて、先週は秋分の日があり、お彼岸でした。暑さ寒さも彼岸まで、とよく言いますね。彼岸花がたくさん咲いている様子をみて、「品があるな」と私は感じました。今日は、この品という字・言葉についてお話しします。

この字は、3年生で習う漢字です。口という漢字が3つ使われていますが、元々は、いろいろなものがある様子を表した字です。

日本でこの字が使われるときは、「品種」など種類を表したり、品格などのようにものの良し悪しを表したりします。

皆さんは「品がある」ことをしていますか？

品がある言葉遣い、品のある行動、などなど。この後、野沢先生から生活指導のお話がありますが、私は最近のみんなの様子、朝や帰りの場面、友達とのやり取りを見ていて、やや品が少なくなっているように感じる場合があります。多くの人たちが過ごすときに、品がある行動はみんなが気持ちよく過ごせるためにとても大切になります。

これまでの自分を振り返って、ああ確かに品が足りていなかったな、と思える人は大チャンスです。だって、すぐに直せて品が身につき、人としてすごいレベルアップができるのですから！

ああ自分は大丈夫だなと思える人はミラクルチャンスです。だって、もっと品を磨けてさらに輝ける人になれるのですから！

落五小のみんなは、全員素敵な人たちです。一日ひとつ「品のあること」をすれば、自然と「かしこくて、人のためになることができて、元気になれる」ことにつながります。皆さんの品が高まれば、落五小の品格もさらにすばらしいものになります。

全校朝会後からすぐにこの「品」を意識して行動してください。

【本講話について】

ここ最近のTVなどでは、コンプライアンスへの意識が高まり、様々な人たちへの配慮がなされる言葉を使っています。一方、現代の児童が触れる機会の多いSNS上では、大人も恐ろしさを感じたり驚いたりするような言葉で溢れています。その影響もあるのか、しばしば他人を慮らないような言葉遣いを児童が話している場面を目にします。

品のある言動は、互いの人権を尊重するためにも非常に重要な役割を担っています。自分の思いや考えを品のある言動で表せるような指導をこれからも続けていきます。